

小学生のみなさんは、おうちの人といっしょによんでね。

イノシシやサルに 出会ったら どうしよう？



**近づかない
ように
しましょう**

野生動物の母親は子どもを守るために、攻撃をして
ることがあります。

**落ち着いて
ゆっくりと
はなれましょう**

人が急に走り出すと、
野生動物は驚いて追っ
かけてくることがあります。

**人の存在を
知らせましょう**

本来、野生動物は、警戒心
が強いといわれています。
音や光で人の存在を
知らせましょう。

**自然豊かな大分市では、住宅地周辺においても、
野生動物に出会うことがあります。
野生動物のことを知り、人も動物も
安心して暮らすためには
どうしたらよいか、考えてみましょう。**

イノシシ、サルってどんな動物？



イノシシの生態

- 雑食性（何でも食べる）
- 昼夜を問わず活動
- 犬なみの嗅覚（鼻で探して目で確認）
- 怪力（鼻で70kgのものを持ち上げる）
- 跳躍力は助走なしで1m以上
- 警戒心が強く臆病
- 出産 4～5頭／年



サルの生態

- 雑食性（栄養価の高いものを好む）
- 明るい時間に活動
- 視覚、聴覚、嗅覚、触覚、味覚は人間とほぼ同じ
- 木登りとジャンプが得意
- 高い学習能力をもつ
- 出産 1～2年に1頭
- 群れはメスとその子を中心に構成される



特にサルに
対しては…



サルとは目を
あわせないようにする

目を見つめない

サルの社会では、相手の目をじっと見つめるのはケンカをする合図です。襲ってくる場合があります。

大人は率先して 追い払う

サルが移動途中で住宅付近に出没することがありますが、しばらくするといなくなります。

人や人が住んでいる
場所はこわいと思わせる！



追い払いは爆竹や
ロケット花火などで
できるだけ複数人で

※事前に近所に声かけ
※早朝・夜間は使わない
※火事ややけどに注意
※火の後始末はしっかりと！



家や学校の近くに野生動物が 出てこないようにするためには？



野生動物にエサをあげないようにしましょう

私たちの生活の中で身近にみられる野生動物は、人に飼われている犬や猫などのペットとは違い、自分たちの力だけで生きていきます。子どもの野生動物にかわいいからと食べ物を与えないようにしましょう。人に慣れ、人が暮らす場所にひんぱんに出没するようになり、大人になっても人を怖がらず追い払っても逃げなくなります。



野生動物とは一定の距離を保つことが必要です。



野生動物のエサとなりそうなものは取り除きましょう

- 犬や猫のエサは片づけましょう
- 収穫しない果樹は伐採しましょう
- 野菜クズなどの生ごみは、捨てたり放置しないようにしましょう



ごみの出し方を工夫してみましょう

ごみは収集当日の
8時半までに
出してください
(収集日前日からは出さないで！)



前日の夜はダメ
袋の口はしっかり結びます

生ゴミを
見えないようにする



※水切りはしっかりと
してください。

ネットなどで
ごみを覆う



くさりなどで重りをつけると
ネットがめくれることを防げます

- ごみステーションを工夫する
自治会が管理するごみステーションの設置・改修及び被せネット等の購入に対し補助制度があります。

詳細は大分市清掃業務課(TEL:097-568-5763)にお問い合わせください。



野生動物に家や倉庫に侵入されないように戸じまりはしっかりと！



カラスに 威嚇されたら どうしよう？

カラスの繁殖期の3月から7月にかけて、
巣の卵やヒナを守るために、
攻撃してくることがあります。

カラスの威嚇

- ・大きな声で鳴く
- ・頭の上を飛びながら鳴く
- ・とまっている枝や電線をつつく

鳴きながら
旋回して
威嚇をする



気付かず卵やヒナに近づくと

枝や葉を
落とす



カラスの攻撃

- ・後ろから脚で頭を蹴る
ように飛んでくる

卵やヒナを
守るための
行動です



※多くの鳥は正面から
向かってくることは
ありません

威嚇されたら
すぐその場を
離れましょう

迂回することも
大事です。

巣を覗いたり、
石を投げたり
しない

カラスを刺激しない
ようにしましょう。

帽子をかぶったり、
傘をさしたりして
身を守る

爪でひっかかれるのを
防ぐことができます。



カラスの生態

- 雑食性
- 夜はねぐら（巣とは違う場所）で休息
- 羽にものがあたると嫌がる
- 記憶力が良い
- 産卵3～5個（3～7月）
- 本来の生息地は森林や草原
- 貯食習性がある（食べ物を隠しておいて、
食べ物が少ない時に取り出して食べる）

カラスの攻撃を防ぐには



羽があたりそう
だからいやだな



片腕を真上に
上げて動かさない



帽子をかぶる



傘をさす